

3年1組 道徳学習指導案

場所 3年1組 教室
授業者

- 1 主題名 親切とおせっかい
2 内容項目 B 親切、思いやり
3 教材名 「わたしのしたこと」 <出典：光文書院>
4 主題構成表

■内容項目 B 親切、思いやり
親切とおせっかいの違いに気付き、相手の立場や気持ちを考え、進んで親切にしようとする。

■内容項目から見た児童の実態 (意識)

- ・困っている人に対して相手のことを考え、進んで親切にすることができる。
- ・相手に対しよかれと思って親切にしたことが、相手にとって迷惑だったということがある。

(要因)

- ・親切にすることはよいという思いをもっているため、教師や親に価値付けてもらおうと頑張れるが、自発的ではないので、意欲が持続しない。
- ・他の人の考え方や感じ方が自分の考え方や感じ方と同じであると思いついて入っている。
- ・公共の場などでも、親切にしなければならぬと分かっているが、断られたり、嫌な顔をされたりしたらどうしようという気持ちや、知らない人に声をかけるのは恥ずかしいという気持ちからできないことがある。

■価値の分析

- ・「親切、おもいやり」とは、相手の気持ちを想像し、相手のことを考えて行動することである。
- ・中学年の児童にとっては、困っている人がいれば親切にし、助けなければいけないことは理解している。そのために、相手の立場や気持ちを真剣になって考え、より深い思いやりの心をもって、親切な行動をしようとする心情を育てていきたい。
- ・親切は時と場合によって、おせっかいにもなることがある。単に手を差し伸べるだけではなく、時には相手のことを考えて温かく見守ることも親切であることに気付かせ、相手の立場や気持ちをよく考えるように心がけ、進んで親切にしようとする心を育てたい。

■教材の分析

- ・色塗りに困っているノンちゃんのお手伝いをしようと木のところを塗ってあげたわたし。しかしノンちゃんは、だまっただまま絵の具を片付け始めた。そんなノンちゃんを見ているときのわたしの気持ちを考えることで、自分がよかれと思って親切にしたことは、相手にとってもよいことであるように思いがちなったり、喜んでくれない相手に疑問をもったりするわたしの内面に気付かせていくことができるようにする。
- ・金賞をとったノンちゃんだが、悲しそうな顔をするノンちゃん。そんなノンちゃんを見て、ノンちゃんの描いた絵を見ることができなかつたときのわたしの気持ちを考える。さらに、「わたしのしたことは親切ではなかつたのか」という「深めの発問」をすることで、親切だと思ってしたことでも受け取る側ではそう感じないこともあることや、親切とは、相手のことを自分のこととして想像し、相手も自分もうれしい気持ちになるものであることに気付かせ、相手のことをよく考えて親切にしようとする心情を育てていく。

■ねらい
親切とは、自分のこととして相手の気持ちを想像し、自分も相手もうれしい気持ちになるものであることに気付き、相手の立場や気持ちをよく考えて、進んで親切にしようとする心情を育てる。

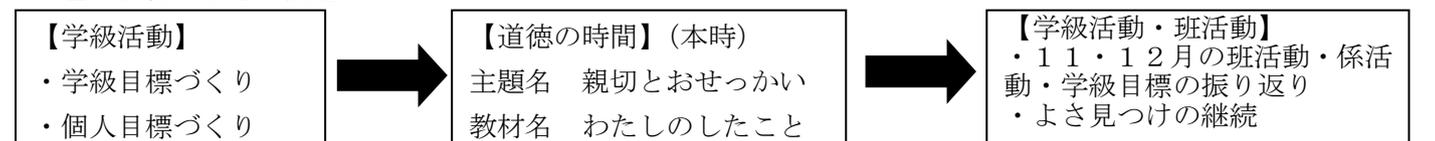
■展開の構想

- ・親切にすればみんな喜ぶ気持ち、自分もいい気持ちになるにはどうすればよいかを考える。
- ・他の人の考え方や感じ方が自分と同じだと思いついて入る弱さに気付かせる。
- ・絵の色を塗り終わった時、絵の具を片付け出したノンちゃんの状態を想像させながら「わたし」の気持ちを考えさせる。
- ・自分の生活を振り返ることで、相手の立場や気持ちをよく考えて親切にしようという実践意欲をもたせる。

■基本発問 (◎中心発問)

- 「わたし」はどんな気持ちからノンちゃんのお手伝いをしたのでしょうか。
- だまっただまま絵の具を片付け始めたノンちゃんを見て、わたしはどんな気持ちになったのでしょうか。
- ◎ノンちゃんの状態が金賞をとったのに、わたしはノンちゃんの描いた絵を見ることができなかつたのはどんな気持ちからなのでしょう。
- 親切にしたり、親切にしてもらったりしてうれしくなつたことをノートに書きましよう。

5 他の教育活動との関連



6 本時の展開

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>1. 友達を親切にしたことがある人、ない人 親切にして友達はいつも喜んでくれたか 親切にされたけど、うれしくなかったことなどの人数を集計し提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">「親切」ってどういうことなのか考えよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にアンケートを行い「親切の意味」についての実態を把握する。 ・親切にしてみんな喜ぶ気持ち、自分もいい気持ちになるにはどうすればよいのかを考えることができるようにする。
展開前段	<p>2. 「わたしのしたこと」を範読する。 ○「わたし」はどんな気持ちからノンちゃんのお手伝いをしたのでしょうか。 ・困っているだろうな。 ・ノンちゃんのためだったら何でも手伝うよ。</p> <p>○だまっただま絵の具を片付け始めた姿を見て、わたしはどんな気持ちになったのでしょうか。 ・なぜよるこんでくれないの。困っていたからお手伝いしたのに。 ・なやんでいた木の所をぬっていい絵になったのに。 ・親切にしたのに。なぜ？ ・ノンちゃんをよるこぼそうとしたのに。 ・困っていたから助けたんだよ。</p> <p>◎ノンちゃんの絵が金賞をとったのに、わたしはノンちゃんの描いた絵を見ることができなかったのはどんな気持ちからなのでしょう。 ・めいわくだったんだ。 ・ノンちゃんは自分で絵を仕上げたかったんだ。 ・うれしくなかったんだ。 ・わたしのしたことはノンちゃんを悲しませることだったんだ・・・。 ・この金賞はノンちゃんにとってうれしいことではないんだ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">自分だったらどうだろうかと相手の気持ちをよく考えること。 自分も相手も気持ちよくなること。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・他の人の考え方や感じ方が自分と同じだと思ひ込みやすい弱さに気付かせる。 ・絵の色を塗り終わった時、絵の具を片付け出したノンちゃんの様子を想像させながら「わたし」の気持ちを考えさせる。 <p>(深めの発問)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">「わたしがノンちゃんにしたことが親切でないのであれば、何が足りなかったんだろう。」</div> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ交流では、自分の考えに理由を付けて話させる。
展開後段	<p>3. 親切にしたり、親切にしてもらったりしてうれしくなったことをノートに書きましょう。</p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px; margin: 10px 0;">わたしは、自分が相手のためだと思ってしたことでも、相手はしてほしくないかもしれないので、自分だったらうれしくなるかなとよく考えることが親切なんだと思いました。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前アンケートの内容を確認させ、これまでの自分と向き合うことができるようにする。 ・振り返る視点として、「いつ」「どこで」「どんなこと」「その時の気持ちは」を示して考えさせる。 ・今までの自分を振り返って書いている児童の記述を認める。
終末	<p>4. 教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の姿を紹介する。 ・仲間の新しいよさに目を向ける意欲を高め、よいこと見つけの取り組みにつなげる。